



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日本エム・ディ・エム

コード番号 7600 URL <http://www.imdm.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大川 正男

問合せ先責任者 (役職名) IR部長

(氏名) 棟近 信司

TEL 03-3341-6705

四半期報告書提出予定日 平成24年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,523	△0.8	179	△18.9	89	325.6	22	—
23年5月期第2四半期	4,561	△4.6	221	△44.8	20	△60.0	△38	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △108百万円 (—%) 23年5月期第2四半期 △114百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	0.86	—
23年5月期第2四半期	△1.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	17,403	11,327	65.1
23年5月期	17,825	11,567	64.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 11,327百万円 23年5月期 11,567百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年5月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	8,850	—	520	—	420	—	△200	—	△7.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2 平成24年3月期は決算期変更の経過期間となることから、通期については10ヶ月間(平成23年6月1日～平成24年3月31日)の予想数値を記載しております。このため、通期の対前期増減率については記載しておりません。

3 ご参考といたしまして、従来の業績期間(平成23年6月1日～平成24年5月31日)としてみた場合の通期連結業績予想は、売上高10,300百万円、営業利益700百万円、経常利益590百万円、当期純利益△120百万円となります。

4 連結業績予想の修正については、本日(平成24年1月6日)公表いたしました「平成24年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	26,475,880 株	23年5月期	26,475,880 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	13,961 株	23年5月期	13,909 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	26,461,961 株	23年5月期2Q	26,462,029 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

平成24年1月17日(火)……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 追加情報	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8
4. 補足情報	8
販売実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当企業集団の当第2四半期連結累計期間における売上高は、4,523百万円（前年同四半期比0.8%減）、営業利益179百万円（同18.9%減）、経常利益89百万円（同325.6%増）、四半期純利益22百万円（前年同四半期は四半期純損失38百万円）となりました。

主な要因は次のとおりであります。

売上高は、脊椎固定器具分野での売上が397百万円（前年同四半期比21.6%減）と低迷しましたが、骨接合材料分野においては、OMフェモラルネイルが大幅に伸張したことなどから、1,913百万円（同0.1%減）を計上、人工関節分野においては、米国子会社Ortho Development Corporation(以下ODEV社)製品の売上が国内（同15.1%増）、米国（同1.0%増）ともに伸張し、合計1,838百万円（同4.3%増）を計上したことから、売上高合計は4,523百万円（同0.8%減）となりました。また、自社製品売上比率は38.5%（前年同四半期比2.4ポイント向上）となりました。

営業利益は、売上原価において償還価格引下げの影響がありましたが、自社製品売上高比率が前年同四半期比2.4ポイント増加したことによる商品構成の変化により、売上原価率を39.0%（同0.2ポイント上昇）に抑えることができました。販売費及び一般管理費では経費の削減に努めてまいりましたが、取引先倒産に対する貸倒引当金繰入額47百万円の影響から、販売費及び一般管理費合計では前年同四半期比11百万円増（同0.4%増）となったことから、営業利益は179百万円（同18.9%減）となりました。

経常利益は、営業外費用として、主にODEV社に対する外貨建て貸付金に係る為替評価損を原因とする為替差損が、当第2四半期連結累計期間では28百万円（前年同四半期では、133百万円の計上）の計上となったことから、経常利益89百万円（同325.6%増）の計上となりました。

特別損失において、医療工具などの固定資産除却損15百万円を計上、四半期純利益は22百万円（前年同四半期は四半期純損失38百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

売上高は3,786百万円（前年同四半期比0.2%減）、営業利益は104百万円（前年同四半期比17.6%減）となりました。

②米国

売上高は1,179百万円（同6.0%減）、営業利益は67百万円（同39.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ421百万円減少し、17,403百万円となりました。

主な減少は、受取手形及び売掛金151百万円、商品及び製品197百万円であります。

負債合計につきましては、前連結会計年度末と比べ181百万円減少し、6,076百万円となりました。

主な減少は、短期借入金174百万円、未払金54百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ240百万円減少し、11,327百万円となりました。主な減少は、利益剰余金109百万円、為替換算調整勘定130百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年7月14日に開示いたしました通期の連結業績予想を修正しております。修正の詳細につきましては、平成24年1月6日付発表いたしました「平成24年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、当社の連結業績予想の前提としている対ドル為替レートの変動により予想値が大きく変動する可能性があります。

なお、連結業績予想の前提としている対ドル為替レートは1ドル80.82円であります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,102,387	2,207,458
受取手形及び売掛金	1,988,574	1,836,831
商品及び製品	5,718,206	5,520,798
仕掛品	13,193	48,439
原材料及び貯蔵品	466,786	433,687
繰延税金資産	289,395	244,686
その他	483,784	380,574
貸倒引当金	△15	△14
流動資産合計	11,062,313	10,672,462
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	649,342	640,211
機械装置及び運搬具(純額)	48,571	52,957
工具、器具及び備品(純額)	1,991,469	1,991,783
土地	2,152,978	2,151,342
その他	53,450	34,539
有形固定資産合計	4,895,813	4,870,833
無形固定資産	132,205	119,320
投資その他の資産		
投資有価証券	6,986	6,164
繰延税金資産	1,658,662	1,665,308
その他	71,751	119,206
貸倒引当金	△2,379	△49,747
投資その他の資産合計	1,735,020	1,740,932
固定資産合計	6,763,039	6,731,086
資産合計	17,825,352	17,403,548
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	422,054	450,594
短期借入金	4,149,749	3,974,809
リース債務	1,214	1,214
未払法人税等	6,698	38,627
未払費用	360,717	330,876
未払金	143,433	89,104
その他	337,071	327,352
流動負債合計	5,420,940	5,212,580
固定負債		
長期借入金	375,000	405,000
リース債務	3,441	2,834
退職給付引当金	430,727	428,003
資産除去債務	22,612	22,842
長期未払金	3,960	3,960
長期預り金	1,000	1,000
固定負債合計	836,741	863,639
負債合計	6,257,681	6,076,220

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,001,929	3,001,929
資本剰余金	2,587,029	2,587,029
利益剰余金	5,935,564	5,825,894
自己株式	△26,036	△26,045
株主資本合計	11,498,485	11,388,807
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	806	319
為替換算調整勘定	68,378	△61,798
その他の包括利益累計額合計	69,185	△61,479
純資産合計	11,567,671	11,327,328
負債純資産合計	17,825,352	17,403,548

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
売上高	4,561,293	4,523,485
売上原価	1,771,671	1,764,455
売上総利益	2,789,621	2,759,029
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	60,416	59,766
販売促進費	75,331	102,750
広告宣伝費	16,267	12,126
給料及び手当	936,772	950,646
退職給付費用	10,236	2,214
法定福利費	106,193	103,135
福利厚生費	41,926	42,255
貸倒引当金繰入額	—	47,366
旅費及び交通費	80,995	81,317
減価償却費	357,836	339,480
租税公課	25,442	26,916
研究開発費	122,605	110,783
その他	733,722	700,345
販売費及び一般管理費合計	2,567,747	2,579,104
営業利益	221,873	179,924
営業外収益		
受取利息	522	171
受取配当金	205	161
業務受託料	12,619	12,699
その他	10,347	9,867
営業外収益合計	23,695	22,898
営業外費用		
支払利息	43,145	32,004
手形売却損	3,184	2,926
為替差損	133,541	28,235
シンジケートローン手数料	41,894	43,303
その他	2,865	7,235
営業外費用合計	224,632	113,706
経常利益	20,937	89,117
特別利益		
固定資産売却益	—	484
貸倒引当金戻入額	34	—
特別利益合計	34	484
特別損失		
固定資産売却損	3,051	—
固定資産除却損	25,867	15,774
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,607	—
特別損失合計	37,526	15,774
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△16,554	73,828
法人税、住民税及び事業税	49,472	25,076
法人税等調整額	△27,446	26,111
法人税等合計	22,026	51,187
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△38,580	22,640
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△38,580	22,640

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△38,580	22,640
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△563	△486
為替換算調整勘定	△75,076	△130,177
その他の包括利益合計	△75,639	△130,664
四半期包括利益	△114,220	△108,024
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△114,220	△108,024
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)

該当事項はありません。

(4) 追加情報

連結決算日の変更に関する事項

当社は、連結決算日(当社の事業年度の末日)を毎年5月31日としておりましたが、将来適用が検討されている国際財務報告基準(IFRS)に規定されている連結会社との決算期統一の必要性に対応するため、および当社グループの連結ベースでの予算編成や業績管理等、事業運営の効率化等を図るため、平成23年8月19日開催の第39回定時株主総会において、定款の一部変更を決議し、連結決算日を毎年3月31日に変更いたしました。これに伴い、その経過期間となる当連結会計年度の期間は、平成23年6月1日から平成24年3月31日までの10ヵ月間となっております。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,793,520	767,772	4,561,293	—	4,561,293
セグメント間の内部売上高 又は振替高	236	487,861	488,097	△488,097	—
計	3,793,757	1,255,633	5,049,391	△488,097	4,561,293
セグメント利益	127,182	111,549	238,732	△16,858	221,873

(注)1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去16,858千円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,785,727	737,757	4,523,485	—	4,523,485
セグメント間の内部売上高 又は振替高	324	441,934	442,259	△442,259	—
計	3,786,052	1,179,692	4,965,745	△442,259	4,523,485
セグメント利益	104,796	67,867	172,664	7,260	179,924

(注)1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去7,260千円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)

平成23年12月2日に「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が公布され、平成24年4月1日以降開始する連結会計年度より法人税率及び繰越欠損金の控除限度額が変更されることになりました。

この変更により、当第2四半期連結会計期間末における一時差異等を基礎として再計算した場合、繰延税金資産が375,292千円減少し、法人税等調整額(借方)が375,292千円増加いたします。

4. 補足情報

販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称及び品目		当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)	前年同四半期比
		金額(千円)	(%)
医療機器類	日本	3,785,727	△0.2
	骨接合材料	1,913,100	△0.1
	人工関節	1,248,171	5.9
	脊椎固定器具	250,114	△24.0
	その他	374,342	1.0
	米国	737,757	△3.9
	人工関節	590,020	1.0
	脊椎固定器具	147,029	△17.2
	その他	707	△88.8
合計		4,523,485	△0.8

(注)1 セグメント間の取引については相殺消去しております。また、上記金額に、消費税等は含まれておりません。

2 連結子会社ODEV社の第2四半期期末日は9月30日であり、同社の業績については、当第2四半期は4-9月の6ヶ月間の期中平均レートで換算し算定しております。